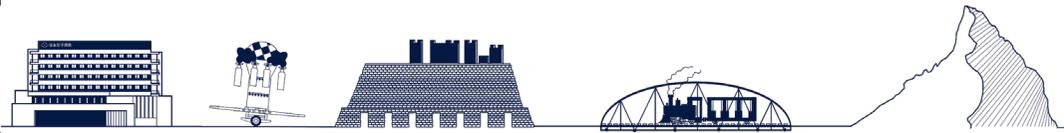


コロナ禍でのパス活動

医療法人住友別子病院
システム課・診療情報管理課 乗松 篤



Special thanks to N.T.

2020年より世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という）は、医療業界に大きな影響を及ぼした。当院でも例外でなくコロナ患者の受入体制構築、委員会活動の制限、私生活においても様々な行動自粛など大きな変化が生じた。

第7波の拡大により、さらに状況が悪化の一途をたどっている。コロナ発生から現在に至るまで、当院のおかれた状況を振り返り、現時点でどのように対応しているか報告する。

医療機関が直面した課題（人・施設・設備・備品等の不足）

人	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医の不足 ・感染症対応部署の看護師 ・人工呼吸器を扱う臨床工学士 等
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・隔離スペース（感染症患者の診察スペース） ・軽症患者の隔離施設 等
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・病床の不足 ・感染症病棟、ICU、HCU、重症病床等 ・人工呼吸器、ネーザルハイフローの不足 ・電源、陰圧設備の不足 等
備品	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク、ガーゼ等の不足 ・除菌用アルコールの不足 等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・接触予防策、感染対策、防護服等の装着方法 ・ゾーン設計 ・ワクチン、治療薬の手配、適用基準の設定

経営面等の課題

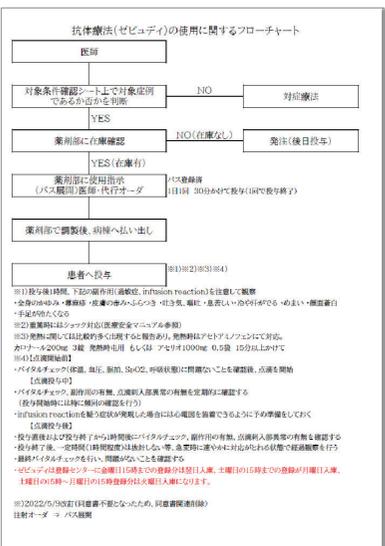
診療制限	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関における診療制限 ⇒病棟の受入制限、入院期間の短縮、面会制限 ⇒外来診療の制限、オンライン・電話診療への移行 ⇒手術・検査の制限、検査体制の変更 ⇒リハビリ制限、透析患者への対応
患者の外出自粛	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の外出自粛による受診控え ・感染症対策による他の疾患への好影響
会議・教育の自粛	<ul style="list-style-type: none"> ・学会等での情報収集、学術研究機会の減少 ・委員会活動の縮小 ・MR等業者との交流減少
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の感染対策 ・制限強化、緩和タイミングの設定 ・クリニカルパスの見直し ・教育活動の見直し

コロナ禍での変化

インフラ環境	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務などのリモートワークやオンライン会議の拡大 中高年層のスマートフォン保有が急進 キャッシュレス決済サービスの普及 テイクアウトやデリバリーサービスの活用
人	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルディスタンス 「お家時間」の増加 ワクチン接種、PCR検査
行政	<ul style="list-style-type: none"> 各種補助金、給付金、助成金 薬事承認の迅速化 サプライチェーンの変化
その他	<ul style="list-style-type: none"> 教育形態の変化、教育格差拡大 ロックダウンによる物通停止 産業の停止、大気汚染の改善 戦争

●新型コロナ診療体制

- 受入開始 : 2021年10月
- 受入患者数: 5床 (最大5名)
- 重症度分類: 軽症または中等症 I (酸素が必要な高齢者は受入)
- 診療体制 : 責任医師1名、担当医2名 (2週間ローテーション) 病棟配属看護師5名
- 診療 : 原則的にクリニカルパスにて運用
愛媛県立中央病院様にパス提供を依頼
受入開始から3か月間で運用検討チームでベースパス作成
それ以降、新規採用薬ごとにサブパス作成
- カンファレンス : 当該病棟にて毎週火曜日午前8時開催
- 環境 : 1病棟をコロナ病棟とし、ゾーニング
病室にHEPAフィルター付空気清浄機を設置、陰圧化
通信手段として患者見守りシステム (テレビ電話)



対象条件確認シート(ゼビュディ)

患者氏名: _____

投与前にチェックし、記入してください

- 最新コロナウイルス感染症候群(COVID-19)の診断が確定している患者
- 症状発症から7日以内

重症化リスク因子(下記重症化リスク因子)のうち1つ以上該当する(必ず)

- 年齢(75歳以上)
- 肥満(BMI: 30kg/m²以上)
- 心血管病
- 慢性腎臓病(CKD)
- 慢性肝臓病
- 慢性呼吸器疾患(中等〜重症の喘息を含む)
- 薬剤治療を要する糖尿病
- 慢性腎臓病
- 上記以外の重症化リスク因子

ゼビュディ投与: 適 不適

コロナ療法フロー

使用する薬剤に対し、フローチャートを作成し、対象条件を確認したうえで薬剤パスを適用し、治療開始

薬剤名	承認日	適応症	用法	用量	副作用	禁忌	注意	相互作用	その他
ゼビュディ	2021年10月	COVID-19	静注	100mg	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応

コロナ用パス

ベースパスに使用する薬剤サブパスを併用することで、変異株や新規採用薬の変化に対応している

ゼビュディ (抗体) 療法パス

薬剤名	承認日	適応症	用法	用量	副作用	禁忌	注意	相互作用	その他
ゼビュディ	2021年10月	COVID-19	静注	100mg	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応	アレルギー反応、発熱、寒戦、悪寒、嘔吐、呼吸困難、低酸素血症、血圧低下、意識障害、アレルギー反応

ベースパス

+

ゼビュディ (抗体) 療法パス

薬剤名	1日量	2日量	3日量	4日量	5日量	6日量	7日量	8日量	9日量	10日量
ベースパス
コロナ用パス

薬剤名	1日量	2日量	3日量	4日量	5日量	6日量	7日量	8日量	9日量	10日量
ベクルリー (レムデシビル) 療法パス

ベースパス

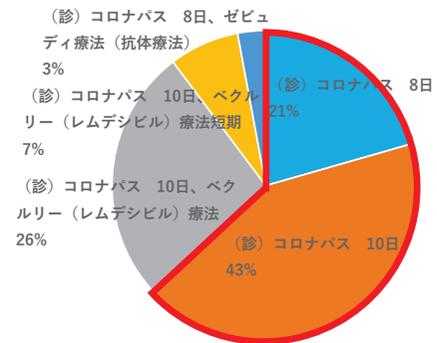
コロナ用パス

ベースパスに使用する薬剤サブパスを併用することで、変異株や新規採用薬の変化に対応している

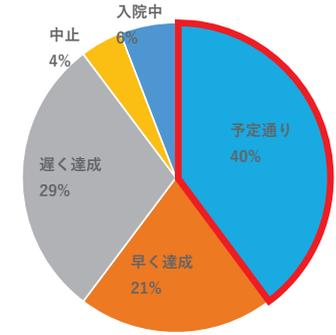
ベクルリー (レムデシビル) 療法パス

+

パス適用状況 8月25日現在 入院患者総数68名



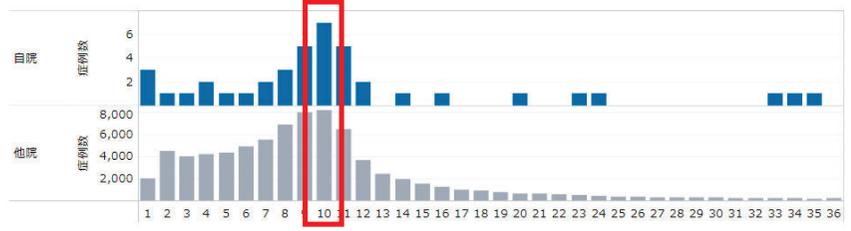
適用パス種別



適用パス終了評価

平均在院日数 当院11.2日 中央値11.0日

■在院日数分布



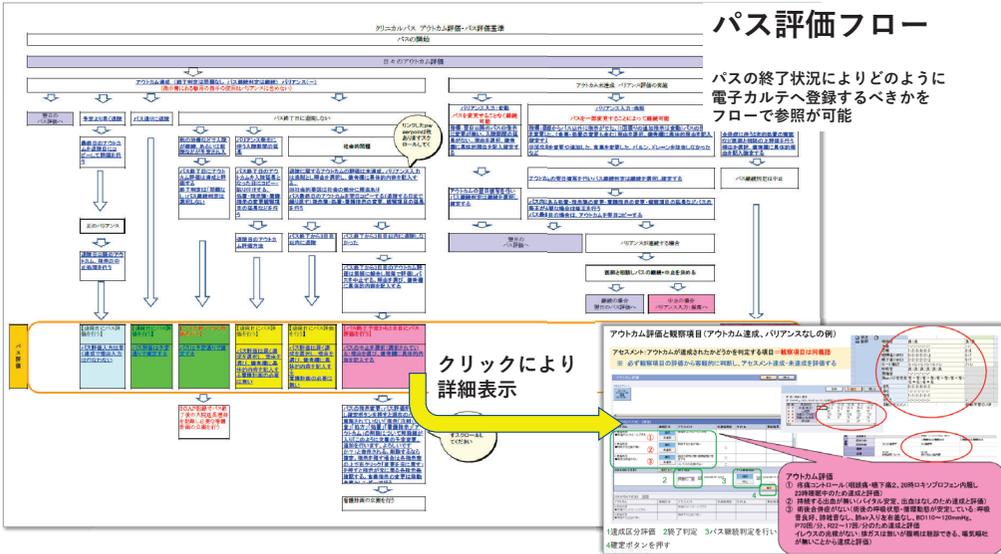
ベクルリー点滴 当院実施率34.1% 他院実施率25.6%

薬効分類7	薬効分類3	自院合計金額	自院単価/症例	他院単価/症例	自院症例数	自院実施率	他院実施率
レムデシビル	抗ウイルス剤	5,193,880	370,991	366,969	14	34.1%	25.6%

※GHC病院グッシュボードχ (分析システム) を使用

●コロナ禍でのパス活動

- ・委員会活動自粛 ⇒ 徐々に再開するも人数縮小
- ・教育 ⇒ 操作フロー、e-Learningなどへ移行
- ・コロナパス作成、修正 ⇒ ベースパスと薬剤毎のサブパスを併用
- ・バリエーション分析、ベンチマーク
- ・監査、評価、改善



パス操作e-Learning

逸脱とは: パスを一部変更することによって継続可能なバリエーション

46歳女性 病名「閉塞性肺疾患」 子宮附属器腫瘍摘出術

術後経過良好。パスの経過通り術後1日目昼から流動食開始。2日目朝より軟食・主4へと形態アップ。朝食は主食5割・副食5割摂取。清拭後に嘔気・嘔吐あり。腹部膨満感程度あり。腹痛微弱。排ガスなし。制吐剤使用にて症状様子みていたが嘔気軽減せず。主治医に状態報告すると、パスはそのままで、昼食より絶食とし様子観察をするように指示があった。2日目の評価です

この場合のパス評価は次のようになります。

このe-Learningは、術後経過良好な患者様の評価方法を解説しています。評価項目の達成状況を把握し、適切な評価を行います。評価項目の達成状況を把握し、適切な評価を行います。

評価項目の達成状況を把握し、適切な評価を行います。

評価項目の達成状況を把握し、適切な評価を行います。

●まとめ

- ・ 担当医師は2週間ごとのローテーション制
- ・ 診療体制に合わせてベースパスとサブパスを併用
- ・ 変異株、新規採用薬ごとにフロー、適用基準、パスを見直し
- ・ パス教育は、操作フロー、e-Learningなどを利用
- ・ 委員会活動を徐々に再開しながらバリエーション分析等実施予定

ご清聴ありがとうございました

